

1 単元名 がんばれトッキッキ

2 単元目標

友達と一緒に活動する楽しさを味わいながら、分担して遊具を作ったり、ゲームのルールを考えたりしてかかわりながら、楽しく活動することができる。

3 単元と指導の構想

(1) 児童と単元

① 児童の実態

ア 7人の子どもたちの休み時間の様子を見ると、好きな絵を描いたりけん玉をしたりして、思い思いに過ごしている。自分から友達を誘って一緒に遊べる子ども、友達や教師から誘われて一緒に遊べ

る子ども、一人で過ごす子どもなど様々である。

イ 玩具を使って、ごっこ遊びや見立て遊びができる子ども、物をたたいてその音や感触を楽しんで遊ぶ子どもなど遊びの段階も様々である。

ウ かかわり方が分からないためにトラブルに発展することもあり、子ども同士が同じ遊びを楽しんで過ごすことは難しい。

エ 昨年度に設定した「みんなであそぼう」という単元では、身近な材料を使って遊具を制作して遊ぶ活動に取り組みさせたところ、「早く遊ぼう」「また遊びたい」「もっと作りたい」と意欲的に取り組む姿が見られた。その要因は次のように考えられる。

- ・ 取り上げた活動が身体を動かして遊ぶゲームであり、子どもたちにとって容易にできる楽しい動きであったこと。
- ・ 自分たちで制作した遊具を使ったこと。
- ・ 遊びながら遊具を製作したり遊び方を考えたりして改善を重ねていったため、遊び方に見通しをもち、遊具に愛着をもてるようになったこと。

② 単元設定の理由

ア 当学級では、生活単元学習を「子どもが主体的に活動に取り組み、夢中になって活動することで成就感・満足感を味わい、その過程で様々な力を身に付けさせる指導形態」ととらえている。

【「生活単元学習指導の手引」文部科学省 より】

- 生活単元学習で取り組む学習活動は、いろいろな領域や教科の内容を習得するための活動ではなく、生活上の課題を達成するための活動である。生活上の課題を成就するための活動に取り組む過程で、結果として、いろいろな領域や教科の内容が習得されるのである。
- 単元は、実際の生活から発展し、児童の興味に基づいたものであること。また単元は、児童の興味や関心を喚起し、それを強めるものであること。

イ 当学級の生活単元学習では、他の教科領域等との関連を図りながら、段階的にかかわりを広げ深めていくことを意図して単元を配列している。

<参考……本単元と他の教科領域等との関連>

- ・ **生活科**：子どもの興味・関心と経験をもとにした友だちとのかかわり・遊び・社会への関心
- ・ **図画工作科**：造形遊びや創造したことの表現
- ・ **音楽科**：音楽に合わせた身体表現
- ・ **体育科**：みんなと一緒に取り組む「投げる」運動
- ・ **自立活動**：人間関係の形成

ウ 本単元の活動を構成するに当たって、次のような工夫をする。

- ・新潟国体をテーマに取り上げる。全校の運動会種目にも取り入れられており、イメージソングやマスコットキャラクターに親しんでいるため、興味関心が高い。
- ・子どもたちが既習経験を生かし見通しをもって取り組めるように、昨年度実施した単元「みんなであそぼう」を基にして、さらに子どもの実態に合わせた発展的な単元とする。
- ・7人全員がかかわって活動できるように、少人数のチーム編制による「チーム対抗戦」のゲーム形式を取り入れる。遊具の共同制作、チームメイトへの応援等、活動を通じていろいろなかかわりを深めることができるようにする。
- ・全員が取り組める「投げる」運動を中心的な活動とする。「投げる」技能は得意・不得意の差が比較的小さく、全員が楽しく取り組むことができる。そこで、本単元では次の二つのゲームを考案した。

ゲーム①：「でてきてトッキッキ」

ストラックアウトとしてテレビでもお馴染みのゲームである。段ボールを使つて的を自分たちで作り、ドッジボールを使ってチーム対抗戦を楽しむ。

ゲーム②：「おいでよトッキッキ」

紅白玉入れの要領でたくさんの玉をかごに入れたチームを勝ちとする。かごは勝敗が視覚的に判断できるようにシーソーの両端に下げ、たくさん入った方に傾くようにする。

- ・遊具への親しみや安心感を高め、主体的な参加を促す。具体的には、チームプラカードを作る、トッキッキの開会式をする等、期待を高める工夫をする。また、遊具の製作と遊ぶ活動を分けるのではなく、遊びながら制作させる。遊ぶ→制作する→遊ぶ→制作する→遊ぶ……というように、遊具を使って遊びながら制作する。
- ・制作した遊具は文化祭等の機会に、全校の友達に紹介したり児童会行事のお店として出品したりしていろいろな友達に使って遊んでもらうことによって、全校の友達とのかかわりへと広げる手立てとして活用する。

(2) 指導計画

① 本単元の主な指導内容

- ・簡単なルールのある遊びを友達と一緒に楽しむ。
- ・自分の気持ちを友達に伝え、友達の話も聞く。
- ・友達と協力して、遊具の制作、準備、片付けなどの役割を最後までやる。
- ・遊びのルールや応援のマナーを守る。
- ・紙、のり、クレヨンなどで、プラカードやステージの飾りを作る。
- ・的やかごを目がけて、あきらめずに何度も投げる。
- ・曲調を感じ取り、音楽に合わせて踊る。

② 指導計画

次・順	ねらい	主な活動	評価
1次 (2時間)	○ 「がんばれ、トッキッキ」の単元に見通しと関心をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・国体のイメージソングに合わせてダンスを踊る。 ・国体の競技についてパンフレットなどを見る。 ・「とっぴーチーム」「きっぴーチーム」に分かれて、リーダーを決める。 ・チームごとにプラカードを作る。 ・ルールを決めて、「でてきてトッキッキ」(的当て)で遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ トッキッキの玉投げゲームをして遊ぶことが分かり、遊具の制作や遊びを楽しむことができる。【観察評価】 ・アイディアを生かして自分から飾りを付けることができたか。 ・自分からの的に向かって何度も玉を投げることができたか。

<p>2次 (7時間) 本時 3/7時間</p>	<p>○ 友達と楽しく遊具を作ったり遊んだりできる。</p>	<p>1時間〜7時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おいでよトッキッキ」のステージの飾りを付ける。 ・応援のマナー，勝敗時のルールを復唱する。 ・「おいでよトッキッキ」のルールを決める。 ・「でてきてトッキッキ」「おいでよトッキッキ」のゲームで遊ぶ。 ・「おいでよトッキッキ」のステージの飾り付ける。 ・「でてきてトッキッキ」で，投げ順番と玉を拾う係を決めて，自分の役割をやり遂げる。 ・「でてきてトッキッキ」「おいでよトッキッキ」の遊具で遊ぶ。 ・新潟国体のイメージソングに合わせてダンスを踊る。 ・係分担，準備，片付けなどに取り組む。 	<p>◇ 友達とかかわり，一緒に楽しむことができる。</p> <p>【観察評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んでステージの飾りを付けることができたか。 ・的や龍に向けて，自分から玉を投げることができたか。 ・友達の名前を呼んだり，声援を送ったりして応援したか。 ・同じチームの友達尾とハイタッチや握手をしたり，万歳などをしたりしてかかわって楽しむことができたか。 ・勝っても，負けてもお互いのがんばりを拍手で，称賛できたか。 ・準備や片付けに参加できたか。
--------------------------------------	--------------------------------	--	--

4 本時の計画（本時：第2次 3/7時間目）

(1) ねらい

遊具に思い思いの模様をつけたり，遊具で繰り返し玉を投げて遊んだりしながら，友達と楽しく活動することができる。

(2) 本時の構想

① 作っては遊ぶという活動の繰り返しにより，期待感を高め，見通しをもたせる授業の流れ

本時では，始めにステージの飾り付けを行う。「トッキッキが喜ぶような，素敵なステージにしよう」という意欲をもたせて取り組ませることで，主活動の見通しをもたせ興味・関心を高める。また，飾り付けについては，トッキッキが喜ぶような飾りをトッキッキの気持ちになって創意工夫させる。

主活動の「作っては遊ぶという活動の繰り返し」は，本単元の一貫した基本的な流れである。これにより，子どもたちが，期待感と見通しをもち，安心感をもって主体的に取り組む。

② できることを生かし，かかわりを育てるゲーム

「でてきてトッキッキ」は，的に向かって玉を投げるゲームである。玉を投げて的に当て抜く動作は，どの子どもも楽しめる。投げている最中は，チームの友達からも注目され，大きな声援を受ける。見事に当て抜けば，自分も嬉しいが友達も一緒に喜んでくれる。拍手や声援の声に心地よさを感じ，友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうことができる。また，「おいでよトッキッキ」では，チームみんなが心をつなげて，一斉に玉を投げ入れ続ける。玉の重みで上下するトッキッキに一喜一憂し，みんながドキドキしたりハラハラしたりしながら，声を掛け合い，みんなで遊ぶことの楽しさやみんなで力を合わせることの楽しさを体感することができる。

③ かかわり合う場面を設けたり，教師と介助員がかかわり方のモデルを示したりして，友達とのかかわりを広げる

ゲーム開始前には，円陣を組み，「エイエイオーの掛け声で」チームの士気を高め合う。

「でてきてトッキッキ」では，互いに友達の名前を呼んで声援を送る。交代するときにはハイタッチをさせ，ゲーム後にも握手やハイタッチなどをさせて，お互いのがんばりを認め合いかわる機会を作る。遊具の準備や片付けなども，友達と一緒に取り組む。このように教師と介助員は，声援・応援のモデルを示し，子どもたち同士の好ましいかかわり行動が見られたときには称賛したり，その行動を教師・介助員も模倣することによって強化したりして，学級全体に広げていく役目を果たす。

(3) 展開

学習活動	教師の働き掛けと予想される児童の反応	指導の意図・手立て□評価方法
<p>1 本時の活動の見通しをもち、飾りを付ける。(15分)</p>	<p>(トロフィーを提示しながら)この前は、□チームが勝ったね。今日は、どちらのチームがトロフィーを手にするでしょうか。</p> <p>始めに、トッキッキが早く下りたくなるような飾りを付けましょう。チームに分かれて、始めましょう。</p> <p>「今日は、勝つからね。」「虹のステージにしよう。きれいな折り紙を貼ろう」「オリンピックみたいな聖火台にしよう。ぴかぴか光る聖火台にしよう」</p> <p>・STが指さしをした部分に、のり付けして折り紙や花を貼る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> どのように飾ったらいいのか分からず作業が進まない子どもには、2種類の制作(花飾りや貼り絵)を提示し、選択をさせ少しでも自分から制作が進められるようにする。 触発されてデザインを模倣したり連想したりできるように、TやSTが個々の子どもの飾りを称賛する。 <p>□評価時間いっぱいまで、遊具に飾りを付けることができたか。(観察評価)</p>
<p>2 作った遊具で遊ぶ。</p> <p>① 遊びの約束を想起する。</p> <p>② 「でてきてトッキッキ」の準備をして遊ぶ。</p>	<p>これから、トッキッキで遊びましょう。遊びの3つの約束を発表しましょう。</p> <p>「玉が当たらなくても、怒ったり、泣いたりしない」「負けても、友達のせいにならない」「負けても、勝ったチームに拍手をする」</p> <p>「でてきてトッキッキ」を始めましょう。リーダーを中心に、今日の順番を決めてください。</p> <p>・チームリーダーを中心に、各自が希望の順番を伝え、投げる順番を決める。</p> <p>チームで、がんばろうのエールをしよう。</p> <p>・チームリーダーが中心となり、エールをする。</p> <p>「でてきてトッキッキ」を始めましょう。</p> <p>・各チーム一人ずつ同時に、一人6個の玉を的に向けて投げる。</p> <p>・一人6個の玉を投げ終わったら、次の順番の子どもが、玉を拾う。投げた子どもは、抜けた的の数数を数えて記録する。「がんばれ～、〇〇さん」</p> <p>(全員終了後)「でてきてトッキッキ」は、とっぴーチームが□枚、きっぴーチームが△枚でした。どちらのチームが多いでしょうか。</p> <p>今日は、〇チームが勝ちました。</p> <p>「やった～。次もがんばろうね。」</p> <p>「残念。次こそ、がんばろうね。」</p> <p>「おいでよトッキッキ」の準備をしましょう。</p> <p>・「でてきてトッキッキ」を片付け、「おいでよトッキッキ」の準備をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> お互いに楽しく気持ちよく遊べるように、事前に文字とイラストでマナーやルールを視覚的に確認する。 自分から希望の順番を伝えられない子どもには、TやSTが代わりに伝える。 同じチームの仲間という意識がもてるように、円陣でエールをして始める。

	<p>たくさん、玉を投げて入れようね。たくさん入ると、早くトッキッキが下りてくるよ。</p>	
	<p>「いっぱい入れるよ。」「今度も、がんばろうね」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2チーム同時に、玉を投げ入れる。 	
	<p>「おいでよトッキッキ」は、○チームが早くステージに下りてきました。○チームの勝ちです。</p>	
	<p>「僕たちが、勝ったね。やったね。」</p> <p>「今度、またがんばろうね。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チームでお互いがんばったことに対して、ハイタッチをする。 	
	<p>今日の優勝は、○チームでした。おめでとう。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームリーダーが、トロフィーを受け取る。 ・ 負けたチームは、拍手を送る。 	
	<p>たくさん、玉を投げることができましたか。遊びの三つの約束を守ることはできましたか。泣かない、怒らない人は、とてもすばらしいです。負けても、勝った友達に拍手をすることができた人もとても立派です。みんなが約束を守って楽しくできたので、トッキッキも喜んで本当に来てくれたよね。</p>	
	<p>「いっぱい、投げたよ。」「拍手も応援もしたよ。」</p>	
<p>3 遊具の片付けをする。 (5分)</p>	<p>次の時間、またトッキッキで遊びましょう。では、トッキッキの片付けをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアとなり、遊具を所定の位置に片付ける。 	<p><input type="checkbox"/> 進んで片付けることができたか。(観察評価)</p>